

令和4年度全国鉱山保安週間によせて
—実効性のある取組みをお願いします—

九州産業保安監督部長 坂元 耕三

平素より、各鉱山におかれては経済産業行政にご指導を賜りつつ、鉱山保安にご理解とご尽力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり鉱山保安週間は、各鉱山の自主保安活動を強く推進し、保安意識の更なる高揚を図りつつ、広く鉱山保安に関する認識と理解を求めることによって、鉱山災害や鉱害の防止に寄与することを目的にしています。昭和25年度から実施していますが、7月1日の「国民安全の日」に合わせて、7月1日～7日を鉱山保安週間に位置づけています。是非ともこの期間に、企業・事業所・グループ・関係団体などが主体となって、日常作業の一斉点検、知識・経験の共有や意見交換を行うなどして、保安対策の徹底及び保安意識の促進など実効性のある取組みをお願いします。

鉱山保安週間に先立ち、九州産業保安監督部は、保安標語の募集を行いました。多くの方々のご参画を賜り、18鉱山から170作品の応募がありました。皆様のご協力に感謝申し上げます。僭越ながら、特選1作品、入選4作品を選考させていただきました。これらの作品は、ポスターにして各鉱山などに配布させていただきます。また、当部ホームページにも掲載させていただきます。更には、鉱山保安週間中に我々が鉱山にお伺いさせていただき、入賞者の方々への表彰や、職員の方々への保安講話や対話を行うなど、可能な限り多くの保安行事に取り組みます。

さて、全国の鉱山災害の発生は、中長期に捉えると下げ止まりの傾向にあると言えますが、昨年及び一昨年は、残念ですが重傷者数が高い水準にあります。今年度は「第13次鉱業労働災害防止計画」の5年目、つまり最終年度を迎えますが、5月までに9件の危害災害が発生しており、引き続き高い状態が継続しています。

なお昨年、九州管内では火災2件を含む9件の災害が発生しました。このうちの7件が危害災害であり、3名の方が罹災されました。今年は、5月までに1件（罹災者0名）の災害が発生しています。

今一度、原点に戻って基本を再確認しつつ、自主保安活動の更なる定着、保安水準向上のためのリスクマネジメントによる予防対策の徹底、継続的な改善活動をお願いします。特に、発生頻度の高い災害を意識した防止対策の推進や、地震、台風などの自然災害への備えを再確認するなど、創意工夫を凝らした実効性のある各種の取組みをお願いします。

また、この鉱山保安週間を契機に、鉱山に従事されている皆様も、ご自身だけではなく、ご家族や職場の仲間も意識して、不断の職場の保安の底上げや働きやすい職場環境作りに、引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

皆様が一致団結して、災害のない、明るい職場が維持・更新されますよう鉱山保安週間が一つの起点となりますことを祈念します。ご安全に！